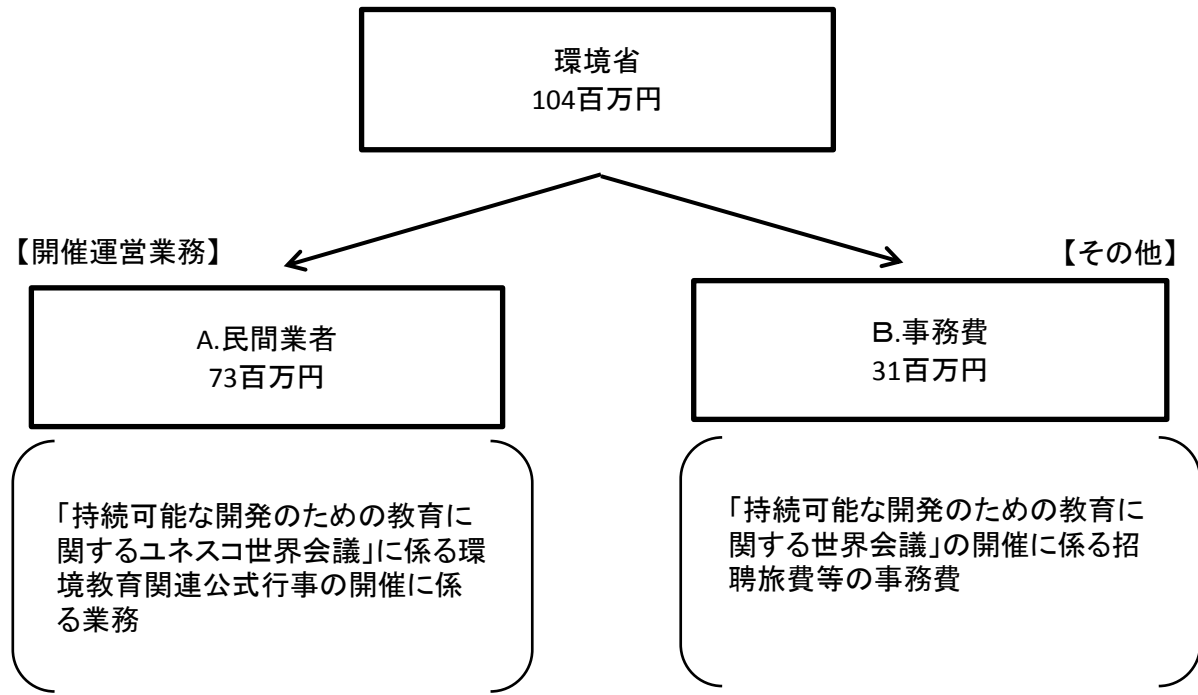


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	持続可能な開発のための教育 (ESD)に関するユネスコ世界会議		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	環境教育推進室		環境教育推進室長 吉田 一博	
会計区分	一般会計		政策・施策名	8 環境・経済・社会の統合的向上 8-4 環境教育・環境学習の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」国内実施計画 「リオ+20」成果文書及び日本イニシアティブ(H24.6)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の開催国かつ国連持続可能な開発のための教育の10年(DESJ)の提唱国としてリーダーシップを発揮するため。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成26年11月に愛知県名古屋市及び岡山県岡山市において開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」におけるステークホルダー会議やテーマ別分科会での環境教育関連公式行事に必要な開催運営業務や国内外関係者の招聘、職員派遣、告知等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				104	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					104	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	ステークホルダー会議やテーマ別分科会を通じた我が国の環境教育に関する成果を数値で表すことは困難。	成果実績					-
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ステークホルダー会議やテーマ別分科会を通じた我が国の環境教育に関する成果の活動実績を数値で表すことは困難。	活動実績 (当初見込み)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	-	73				
	諸謝金	-	1				
	職員等旅費	-	5				
	委員等旅費	-	1				
	庁費	-	24				
	計	-	104				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	2002年に開催された持続可能な開発に関する首脳会議(ヨハネスブルクサミット)において我が国の小泉首相(当時)から「国連持続可能な開発のための教育の10年(DESDE)」について提案し、同年の第57回国連総会において、2005年から始まる10年を「国連DESDE」とすることが決議された。国連DESDEの最終年である2014年に日本政府とユネスコの共催で愛知県名古屋市及び岡山県岡山市にて「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」が開催予定である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	-					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

平成26年度予定



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)